

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

12月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

令和元年度山鹿市民医療センター経営改善評価委員会を開催

10月31日(木)に当センター医療研修センターで山鹿市民医療センター経営改善評価委員会を開催しました。

今回は、平成29年3月に策定した新山鹿市民医療センター病院改革プランの2年目(平成30年度分)の経営実績の報告と、プランに定めた具体的取り組み及び数値目標の達成状況についての自己点検と自己評価を行った結果について、委員会からの評価・意見を求めました。

委員会では、「医師の確保」についての意見・質問が多く出されました。

主な意見としては、「学会認定施設の資格取得の取り組みは、教育施設としてのアピールとなり、人材確保につながる。」「山鹿市医師修学資金貸与者の現在の状況」また、「民間会社は人手不足で、市民医療センターは医師不足。これからは、市全体で山鹿に住んでもらえるような環境づくりが必要と考える。」などが出され、委員からは「熊本市へ医師が集中する中、医師確保対策については出来る事には取り組まれている。」との評価を頂きました。その他の意見として、未収金対策と分娩件数等についての質問が出されました。

最後に会長から「人口減少の中、高齢者数は変化がない。今後についてどう考えているか。」の質問に対し、事業管理者から「プランは5年計画としているが、流動的などところもある。病床利用率も上がらない。今後様々な検討をしないと経営的にも厳しいと思っている。また、病床機能については地域医療構想の

中で話をして行きたい。」と答えました。

限られた時間の中ではありましたが、プランの達成状況について概ね評価いただいたと思います。また、当日は山鹿市議会市民福祉常任委員会の傍聴もありました。

山鹿市民医療センター経営改善評価委員会委員 (任期：令和元年4月1日から令和3年3月31日)

会長 熊本大学病院特任教授

松井 邦彦 先生

副会長 鹿本地域振興局保健福祉環境部長

小山 宏美 先生

公認会計士

山口 勝則 先生

市民代表

桂 佳予子 先生

企業代表 山鹿市企業連絡協議会副会長

宮田 正高 先生

(文責：事務部長 永田 臣司)



経営改善評価委員会の様子

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

経営改善評価委員会 P 1

国保地域医療学会 P 2

医療最前線 (119) P 3

部門紹介内視鏡室・転倒予防研修会 P 4

市民公開講座・開放型病院運営協議会総会・
懇談会並びに三師会忘年会 P 5

外来担当医表 (12月) P 6

国保地域医療学会

第24回熊本県国保地域医療学会が10月26日(土)に熊本テルサにおいて、熊本県国民健康保険診療施設協議会・熊本県市町村保健師協議会・熊本県国民健康保険団体連合会主催のもと開催されました。熊本県内の国民健康保険診療施設から医師・看護師が、市町村から事務担当職員や保健師が、また、熊本大学医学部医学科地域枠の学生など総勢330人以上参加しました。今回は、「地域包括医療・ケアのさらなる推進に向けて」をメインテーマに開催され、看護、介護、在宅、医療ケア、歯科、口腔ケア、保健事業等における見直し、取り組みに関する30題の研究発表と特別講演が行われました。

研究発表では、当センターの木野佳代看護師から看護研究を1題：「『いいね!』探しで病棟が変わる～チーム成長のイベントリー調査による分析をもとに～」と、森まりえ薬剤師から薬剤・臨床研究を1題：「ポリファーマシーとは?～病院薬剤師としての取り組みと今後の課題～」の計2題を発表しました。

木野看護師発表の「いいね!」探しとは、職場の一体感を生むことを目的に“同僚のいいところを見つけて相手に伝える”“お互いを誉めあう”取り組みです。研究にあたり、実際に所属病棟で「いいね!」探しに取り組み、その結果を「チーム成長イベントリー(チーム成長を測定する尺度)」を基に取り組みの前後で比較し、チームの成長を評価しました。また、実際に「いいね!」探しを実施したこ



研究発表の様子

とで、お互いへの感謝や尊敬の気持ちが広がり、病棟全体に良好なコミュニケーションが生まれました。また、プラスの言葉が増えることで、相互信頼と、働く環境にもいい影響を与え、結果としてチーム成長につながったと評価することができました。これらの取り組みで、改めてコミュニケーションの重要性を考えさせられましたし、会場からも「是非自分たちの職場でもやってみたい」といったご意見もいただき、「いいね!」探しに関心を持っていただく機会になったのではないかと感じました。これからも病棟では、今後のよりよい看護につなげられるよう、チーム力を高めていきたいと思えます。

また、森薬剤師が発表した薬剤・臨床研究「ポリファーマシーとは?～病院薬剤師としての取り組みと今後の課題～」は、ポリファーマシー(必要以上の医薬品を使用している状態)の起こりやすい要因や背景の解説や、当センターでのポリファーマシー介入事例を報告し、ポリファーマシーへの介入には、医療スタッフ間や医-医連携が必要であり、また、医療機関だけでなく患者さんや介護者も一体となって取り組むことが大切である等の発表を行いました。

学会終了後、今年の研究発表についての審査会議があり、木野佳代看護師の看護研究が優秀賞を受賞することができました。他医療機関参加者からの研究発表も、今後の業務を行っていく上で非常に参考になるものばかりで、実りの多い学会参加となりました。

(文責：看護師 木野 佳代、薬剤師 森 まりえ)



会場の様子

医療最前線 (119)



急性胆嚢炎

～急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2018：TG18から～

外科
赤星 慎一 先生

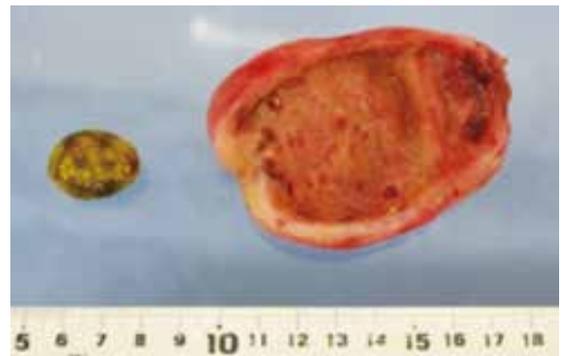
急性胆嚢炎は胆嚢に生じた急性の炎症性疾患で、ほとんどは胆嚢結石が胆嚢管に嵌頓すること起因しますが、胆嚢の血行障害や菌血症、膠原病など発症に関与する要因は多彩です。腹痛患者全体の3～10%を占めるといわれており、50歳以上では20%程度と報告されています。診断・治療に当たっては、急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン：Tokyo Guidelines(TG)が用いられており、2005年に出版されてから、改訂を経て(TG13)、最新版はTG18で、いまや世界基準となっています。

急性胆嚢炎の診断基準は、Murphy's sign (胆嚢を触知すると痛みを訴え呼吸を完全に行えない状態)、右上腹部痛、圧痛などの胆嚢局所の炎症所見と発熱や血液検査による全身の炎症反応所見を認めた場合に急性胆嚢炎を疑い、画像診断で確認することと記載されています。超音波検査は低侵襲であり、普及度、簡便性、経済性などから第一選択的検査法として推奨されます。

急性胆嚢炎の重症度は重症：臓器障害をきたし、呼吸・循環管理などの集中治療を要する病態(循環作動薬の使用、腎障害や凝固異常を伴うものなど)。中等度：臓器障害には陥っていないが、重篤な局所合併症を伴うもの(白血球数 $>18000/\text{mm}^3$ 、発症から72時間以上症状の持続、膿瘍形成、気腫性胆嚢炎など)。軽症：それら以外の急性胆嚢炎の3つに分類されます。それぞれの重症度に応じた望ましい診療が記載されていますが、基本的には耐術可能であれば、早期の腹腔鏡下胆嚢摘出術が推奨されています。

TG13では、発症から72時間以内での早期手術が推奨されてきましたが、TG18では手術の至適時期について検討が加えられ、発症からの経過時間にこだわらず、早期に手術を行うことが提案されました。ただし、発症からの時間が経過すると組織の癒着化が進行し、手術難度が上がるのが考えられます。手術は熟練した外科医の下で行われることが望ましいと記載されており、当院ではすべての外科医が外科専門医、消化器外科専門医、消化器病専門医の資格を有し、急性胆嚢炎の診断、治療に熟練しております。

私が2019年4月より当院へ赴任し、急性胆嚢炎を含めた緊急手術は例年の2～3倍に増加いたしました。近隣の医療機関の先生方のご紹介のおかげです。厚く御礼申し上げます。急性胆嚢炎の診断例、疑診例などありましたら、いつでもご紹介いただきますようお願い申し上げます。



摘出した胆嚢と胆嚢結石



内視鏡室のご紹介

当センター内視鏡室では、内視鏡専門医(消化器内科医師)3名と看護師6名が勤務しており、専門医を中心に外科と連携し、内視鏡検査に取り組んでいます。また4月から、前任の堤英治医師に代わり、熊本大学病院より千代永医師が着任されています。

当センターで受けられる検査は、上下部内視鏡検査(胃カメラ 2,700件/年、大腸カメラ 700件/年)、上部超音波内視鏡検査及び穿刺吸引術(EUS・EUS-FNA 200件/年)、内視鏡的逆行性膵管胆道造影(ERCP 270件/年)、ポリープ・早期癌などの内視鏡的切除術、内視鏡的止血術(200件/年)、ステント留置術、胃瘻造設術(PEG)、気管支鏡検査(BF)など多岐にわたります。

昨今の内視鏡検査は、消化器疾患の診断に留まらず、治療においても目覚ましい進歩を遂げています。早期がんやポリープなどは、短時間で切除でき、低侵襲であるため、今後の発展が更に期待され、当センターでも検査・治療を受ける患者数

が年々増加しているところです。また、1日の検査予約枠は設けていますが、緊急性が高い症例の場合は、状況により柔軟に対応しています。

内視鏡検査を「きつい、怖い」と思われる方も多いと思いますが、当センター内視鏡室では、安全に安心して検査を受けて頂けることを第一に、スタッフ一同レベルアップに努めて参りたいと思います。

(文責：内視鏡室看護師 原田 康恵)



内視鏡室スタッフ

転倒予防研修を開催しました

11月19日に転倒予防研修を当センターの医療研修センターで実施しました。今研修は患者さまではなく、職員自身の転倒を予防することを目的に開催しました。転倒予防には筋力・バランス能力・柔軟性を総合した下肢及び体幹の力が重要であるため、最初にそれぞれに対する日頃からの運動の必要性について講義を行いました。その後、自身の運動能力を認識してもらう為、2つのテストを実施しました。

①立ち上がりテスト…10・20・30・40cmの台からの立ち上がり(今回は30・40cmで実施)

②2ステップテスト…できる限り大股で2歩歩き、その値を測定し算出

以上のテスト結果を年代別の平均値と比較することで、現在の自身の能力を把握しました。これらを把握することは、患者さまへの対応や指導をする上でも大切なことと考えられます。また、転倒するということは自身の運動能力が低下している可能性を示しています。定期的に自身の運動能力を再確認し、体力を維持・増進させる為にも、筋力・バランス能力・柔軟性を意識した運動を日頃から継続して行う

ことが重要です。

(文責：理学療法士長 四方田 清晴)



①立ち上がりテストの様子



②2ステップテストの様子

ご 案 内

山鹿市民医療センター第4回市民公開講座

がんを考える-がんの予防、最新治療から緩和ケアまで-

日 時：令和元年12月7日（土）
開演10時 閉演12時

場 所：山鹿市民交流センター 文化ホール(市役所隣り)

参加費：無料

【講座プログラム】

- (1) がんの予防と生活習慣病
山鹿市民医療センター
代謝内科長 川崎 修二
- (2) がんの最新治療
 - ①内視鏡治療
山鹿市民医療センター
消化器内科長 千代永 卓
 - ②薬物治療
熊本大学病院
外来化学療法センター長 陶山 浩一
 - ③進行度に応じた外科手術
山鹿市民医療センター 外科長 赤星 慎一
- (3) がん患者さんのこころのケア・緩和ケア
山鹿市民医療センター 外科医長 佐藤 伸隆
- (4) 本日のまとめと質疑応答
山鹿市民医療センター 院長 別府 透

お問合せ先 📞 山鹿市民医療センター
事務部経営管理課 樋口、迎田
E-mail:hp-soumu@yamaga-mc.jp
TEL：0968-44-2185 (内線608)

主催：山鹿市民医療センター
共催：山鹿市
後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会
山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会

令和元年度 山鹿市民医療センター 開放型病院運営協議会総会・懇親会 並びに三師会忘年会のご案内

日 時：令和元年12月13日(金) 午後6時30分

場 所：ゆとりろ山鹿 2階 灯籠の間
山鹿市宗方通702 TEL43-8111

次 第：

- (1) 総会
 - ① 医療連携に係る実績報告
山鹿市民医療センター 副院長 高木 茂
 - ② 意見交換
 - ③ ミニ講演
演題：「インフルエンザ対策」
～院内持ち込み防止に向けた当院の取組～
演者：山鹿市民医療センター
医療管理部感染制御室
副看護師長 廣瀬 憲一
 - ④ その他
- (2) 懇親会並びに三師会忘年会

お問い合わせ先 📞 山鹿市民医療センター
地域医療連携室
または事務部経営管理課
TEL：0968-44-2185

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

12月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	※陶山 浩一	—	—
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原 利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一郎	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一郎	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 木下 浩一
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※山崎 浩藏	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種(午後)	※石井 真美	—
セ ン タ ー 器 器	耳鼻咽喉科	—	※深見 直美	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗	福島 泰斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
※片淵美和子(午後) 12/3(火)、12(木)、17(火)、24(火)、26(木)					
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	吉岡 明子	外科医(午前) 担当医(午後)

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までをお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

12月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	12/3(火)、12(木)、17(火)、24(火)、26(木)	
PEG外来	担当医	隔週 第2・4水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>